



サクラサク

菊水中学校
進路通信 NO.32
R3年1月22日(金)
文責 西澤 渚

1月25日(月)～29日(金)までの日程

日	曜	入試関係	備考
25	月	☐ 有明高専学力選抜出願 (期日指定での発送) ☐ 鎮西・学付・ルーテル 合否発表	面接指導
26	火	☐ 九学 合否発表 ☐ 竹田南 合否発表	
27	水	☐ 文徳 合否発表 ☐ 公立後期、熊本市内私立一般 受験料回収(～28日) ☐ ひのくに高等専門学校入試 事前指導 ☐ 鏡わかあゆ高等支援学校入試 事前指導	
28	木	☐ ひのくに高等専門学校 入試1日目 ☐ 鏡わかあゆ高等支援学校 入試1日目 ☐ 公立後期、熊本市内私立一般 受験料回収	
29	金	☐ ひのくに高等専門学校 入試2日目 ☐ 鏡わかあゆ高等支援学校 入試2日目 ☐ 有明高専推薦選抜入試 合否発表	合格発表後、入学手続きが必要になります。合格通知と一緒に渡される「手続きについての文書」をしっかりと読んで、確実に手続きをしてください。

		☐ 公立前期入試 事前指導	
--	--	--------------------------------------	--

2月1日(月)～5日(金)までの日程

日	曜	入試関係	備考
1	月	☐ 公立前期選抜 ☐ 有明高専・久留米高専学力選抜受付	☐ 現地引率は玉名工業のみ ☐ 高専の学力選抜書類等の発送は、期日指定で発送済み(1月22日) ☐ 受検生以外で中学校登校組は、 4時間授業後給食なしで下校
2	火	☐ 城北併願入試事前指導(6時間目)	
3	水	☐ 城北併願入試	
4	木	☐ 熊本市内私立一般入試出願	

		☐ 竹田南私立一般入試	
5	金		

私立一般入試及び公立後期選抜試験の出願書類について

昨日（1月21日）、私立一般入試及び公立後期選抜試験出願に必要な書類の下書きを行い、本日（1月22日）、清書の提出でした。訂正等が必要な人は、一度持ち帰り、正しく記入をし、月曜日（1月25日）に再度提出をしてください。

また、この私立一般入試や、後期選抜試験への出願は、私立特別入試や公立前期選抜の可否の結果から、出願する人または出願しない人と出てきます。自分自身が、どのような動き（書類のやり取りや何をいつまで提出しなければならないか・・・など）をしないといけないのか説明をしていますので、各々がしっかりと理解をして動いてください。

* * * * * 受験料回収日 * * * * *

R3 年 1 月 27 日（水） 28 日（木）	※私立一般の回収→熊本市内私立特別入試の結果発表が 1月25日（月）～ 結果次第で、受験料提出の要・不要が決まる。 ※公立後期の回収→ほとんどの人が、受験料の提出が必要。 専願受験をした人など、結果次第で受験料提出の 要・不要が決まる人もいます。
--	---

提出の仕方は、説明の通りです。準備をしておきましょう。

合格発表後の生活について

進路先が確定した皆さんは、合格に至るまでに不安な気持ちやプレッシャーを感じながら生活した人も多いことでしょう。これまで支えてくれた親や家族、友人、また先生方や部活のコーチの方々に対しての**感謝の気持ち**を忘れないでください。決して自分だけの力で合格できたわけではないという**謙虚な気持ち**を持ち続けることが大切です。

さて、残されたわずかな期間の中学校生活は、高校生活を充実したものにするための貴重な助走期間ととらえ、次のような点に留意して生活します。

1 周りの人のことを考える

学年、学級には、まだこれから第一志望校の受検を控えている多くの仲間がいます。また、入試の結果が思い通りにならなかった人がいるかもしれません。そのことを常に忘れずに生活します。また、クラスでやらなければならない仕事等があれば、感謝の気持ちを表す場面ととらえて進んで引き受けて生活します。

2 授業に集中する

高校へ進学すると、当然中学校での学習以上に厳しい授業が待っています。そのことは承知の上で皆さん方は進路を決めていったはずですが。残された中学校の授業も当然、**気を緩めず**、これから試験を受ける仲間に負けないように集中して受けます。みなさんのこれからの学習目標は、まずは2月中旬に行われる学年末テストです。中学校の学習を完璧にして、進路先に向かいます。もちろん宿題が高校から出されている人は必ず、指定期日までに仕上げて高校に提出します。

3 生活を乱さない

進路が確定して、生活態度に集中力をなくし、朝の遅刻や自習時間に集中力をなくす、服装が乱れるなどの行為は決して許されません。このことは、4月からの高校生活に必ず悪影響を及ぼしますし、これまで協力してくださった方々を裏切る行為でもあります。中学校生活が正しかったからこそ、合格を手にしたのです。今一度、次の点で中学生生活を大切にします。

- 1 早寝早起きをする。
- 2 挨拶運動や朝の学習会、ボランティア等に自主的に参加する。これまで以上に自学を充実させる。
- 3 挨拶と、清掃を精一杯頑張る。
- 4 高校でも、学習と同様に部活動も頑張ろうと思う人（特待生であろうとなかろうと）は、顧問の先生やコーチの方に了解をとって放課後の部活動に積極的に参加する。

いくつかの高校の合格手続きの書類の中に次のような一文が入っていました。合格はまだ内定でしかないことをしっかり意識しておいてください。

尚、本校専願合格者が今後生活態度が乱れ、甚だしい問題行動を起こした場合は、

4 〔不合格だった場合〕

どれだけ万全を尽くしても、良い結果が出てしまう場合とそうでない場合があります。志望校に不合格だったことは、何よりも一番ショックなことです。ただ、その時の結果で人生すべてが決まってしまうわけではありません。いつまでもひきずらず、進路の決定をしていくための「戦略」をきっちり立て直しましょう。「あれをしなかったから……」とか「これをしておけば……」といった“過去志向”なのではなく、「今からでもできることは何か？」という“未来志向”が大切です。まずは担任の先生とこれからのことをしっかり相談し、新たな目標設定をします。

第1希望の高校に入学できなかったことをバネにして、合格した人達よりずっと力を伸ばした人達は大勢います。大事なことは自分の力を信じて希望を失わずに努力を続けることです。